

2021年7月18日 YIBC 礼拝説教
ルカによる福音書 24章 13節から 35節
心は燃えているか？

みなさんおはようございます。

田部一憲と申します。この教会の執事の1人です。本日の礼拝説教を担当します。

本日はルカによる福音書 24章 13節から 35節から、主のメッセージを共に受け止めていきましょう。イエス様の十字架から3日目に、エルサレムを離れたイエス様の弟子が2人おりました。復活したイエス様が彼らに現れて、その後、彼らはエルサレムに戻った、というお話です。

最初にお祈りをします。

それでは、13節から読みましょう。

「13. ところで、ちょうどこの日、弟子たちのうちの二人が、エルサレムから六十スタディオン余り離れた、エマオという村に向かっていた。」

イエス様は、エルサレムにあるゴルゴダの丘で十字架にかかりました。それから3日目の日曜日、イエス様の弟子が2人、エルサレムを離れていきました。彼らは約11キロ離れたエマオという村に向かって歩いていきました。

続けて、14節から19節(a)最初まで読みましょう。

「14. 彼らは、これらの出来事すべてについて話し合っていた。15. 話し合ったり論じ合ったりしているところに、イエスご自身が近づいて来て、彼らとともに歩き始められた。16. しかし、二人の目はさえぎられていて、イエスであることが分からなかった。17. イエスは彼らに言われた。「歩きながら語り合っているその話は何のことですか。」すると、二人は暗い顔をして立ち止まった。18. そして、その一人、クレオパという人がイエスに答えた。「エルサレムに滞在しながら、近ごろそこで起こったことを、あなただけがご存じないのですか。」19a. イエスが「どんなことですか」と言われると、二人は答えた。「ナザレ人イエス様のことです。」」

クレオパらがエマオに向かおうとした時、3日前に死んだはずのイエス様が近づいてきて、ちょうどイエス様のことを話し合っていた彼らに声をかけたけれど、彼らはこの人がイエス様ご本人とは気がつかなかった。このことを16節では「二人の目はさえぎられていた」と表現しています。

19節(b)の続きから24節までを読みましょう。

「19b この方は、神と民全体の前で、行いにもことばにも力のある預言者でした。20. それなのに、私たちの祭司長たちや議員たちは、この方を死刑にするために引き渡して、十字架につけ

てしまいました。21. 私たちは、この方こそイスラエルを解放する方だ、と望みをかけていました。実際、そればかりではありません。そのことがあってから三日目になりますが、22. 仲間の女たちの何人かが、私たちが驚かせました。彼女たちは朝早く墓に行きましたが、23. イエス様のからだが見当たらず、戻って来ました。そして、自分たちは御使いたちの幻を見た、彼らはイエス様が生きておられると告げた、と言うのです。24. それで、仲間の何人かが墓に行ってみたのですが、まさしく彼女たちの言ったとおりで、あの方は見当たりませんでした。

クレオパらはイエス様のことをメシアとしてではなく、ローマ帝国の支配からイスラエルを解放してくれる王になるべき預言者だと期待していました。政治的変革を夢見て、イエス様に弟子として追従してきたけれど、彼らにとって期待の星だったイエス様が死んでしまったので、夢破れて絶望し、故郷に帰るところでした。しかも、イスラエルの宗教指導者たちがイエス様を殺せと騒ぎ立て、異邦人であるローマ人にイエス様を殺すように仕向けたことに、理解に苦しみ混乱していました。イエス様の墓から遺体が消えてしまったという話に、得体のしれない不安も抱いていたのです。

25 節から 27 節を読みましょう。

「25. そこでイエスは彼らに言われた。「ああ、愚かな者たち。心が鈍くて、預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち。26. キリストは必ずそのような苦しみを受け、それから、その栄光に入るはずだったではありませんか。」27. それからイエスは、モーセやすべての預言者たちから始めて、ご自分について聖書全体に書いてあることを彼らに説き明かされた。」

まず、イエス様はクレオパらの話に耳を傾けていました。彼らが話を終えた時、イエス様は「ご自分について聖書全体に書いてあること[※]」を教え始めました。

ヨハネによる福音書 5 章 39 節で、イエス様は「**聖書は、わたしについて証しているもの**」と言いました。ルカによる福音書 18 章 31～34 節を見ると、イエス様は十字架にかかる前に、預言者の言葉どおりにご自分が十字架にかかって死に、その後、復活すると 12 弟子たちに三度も語っていたが、彼らはイエス様の教えを理解しなかった、と書かれています。クレオパらも、12 弟子の誰かからイエス様の教えを聞いたでしょうが、理解せず、この教えを聞いたことすら忘れてしまったに違いありません。

イエス様はクレオパらを見捨てませんでした。イエス様の方から彼らに近づいて、声をかけました。彼らはこの旅人がイエス様だと気がつきませんでした。それでも、イエス様はご自分を明かさず、旅人として、まず彼らの話を聞きました。彼らの絶望と混乱と不安を受け入れました。それからもう一度、彼らに聖書を教え始めました。ご自分の十字架と復活について、彼らに聖書全体から解き明かされました。クレオパらは「**イエス様の十字架は聖書の預言が実現した結果だった**」と理解しました。彼らはきっと、自分たちの気持ちを受け入れられて、聖書を解き明かされたおかげで、現実を聖書の視点で見つめるようになり、失望や混乱や不安が解消したに違いありません。

28 節から 29 節までを読みましょう。

「28. 彼らは目的の村の近くに来たが、イエスはもっと先まで行きそうな様子であった。29.

彼らが、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕刻になりますし、日もすでに傾いています」と言って強く勧めたので、イエスは彼らとともに泊まるため、中に入られた。」

ユダヤ人にはタルムードという口伝律法があります。その中に、将来に報いをもたらす行いとして「旅人をもてなすこと」も含まれていたそうです。クレオパらはタルムードに従い、道中を共にした旅人をもてなすべきだと思い、イエス様を家に招き入れて、食事を振る舞いました。

30 節から 31 節を読みましょう。

「30. そして彼らと食卓に着くと、イエスはパンを取って神をほめたたえ、裂いて彼らに渡された。31. すると彼らの目が開かれ、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。」

旅人を迎え入れてもてなした主（あるじ）はクレオparaの方でした。ところが突然、旅人が主となり、クレオparaが客としてもてなしを受けました。主と客が逆転しました。このことは一体、何を意味するのでしょうか？

ヨハネによる黙示録 3 章 20 節を読むと、イエス様は「見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼と共に食事をし、彼もわたしと共に食事をする。」と語っています。まさに 30 節においてこの御言葉がそのまま実現しました。クレオparaは、この旅人をイエス様とは気がつかないまま、旅人を心からもてなす行為をもって、イエス様に心を捧げました^{***}。その時、イエス様も彼らにご自分の肉体の象徴であるパンを振る舞いました。ルカによる福音書 22 章 14 節から 23 節を読むと、イエス様が十字架にかかる前に 12 弟子にパンを裂いて渡した出来事が書かれています。この時、イエス様は彼らに「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。」と語ってパンを渡されました。クレオparaは最後の晩餐の様子を伝え聞いていたでしょうから、彼らが招いた旅人からパンを渡されて「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。」という言葉聞いた瞬間、「何だ、この旅人はイエス様だったのだ！」と強く確信したはず。このことが 31 節に書かれた「彼らの目が開かれた」という意味なのです。

31 節の最後に「イエス様の姿は見えなくなった」と書かれています。わたしたちは、ただ「目に見える現実に一喜一憂するよりも、聖書の真理なるイエス・キリストとの信仰の交わりを体験することの方がはるかに重要であること」に心を留めてみたいと思います。

32 節から 35 節までを読みましょう。

「32. 二人は話し合った。「道々お話しくださる間、私たちに聖書を説き明かしてくださる間、私たちの心は内で燃えていたではないか。」33. 二人はただちに立ち上がり、エルサレムに戻った。すると、十一人とその仲間が集まって、34. 「本当に主はよみがえって、シモンに姿を現された」と話していた。35. そこで二人も、道中で起こったことや、パンを裂かれたときにイエスだと分かった次第を話した。」

クレオparaにとって、聖書の真理なるイエス・キリストを知り、このキリストが、旅人という存

在として、彼らの前に現れた体験は歓喜するほどの出来事でした。イエス様と行動を共にしてきた他の弟子たちと分かち合わずにはいられなかったはずです。

わたしたちは、自分自身の目で現実ばかり見つめていると、クレオパラのように、目に見える出来事だけに期待して、その後、絶望や混乱や不安に襲われてしまいます。ところが、同じ現実を、聖書の真理をとおして見つめなおしていくと、聖書の言葉が世の中を支配しており、この現実の只中に、聖書の真理なるイエス・キリストが遣わされていることを知るようになります。このイエス様はわたしたちの身近な存在をとおして現れて、ご自分を主張せず、ただ、わたしたちの話を聞いてくれます。聖書の御言葉を解き明かして下さい。御言葉をとおして私たちの心を解放して下さい。ご自身を現してわたしたちの心を燃やして下さい。時には絶望の旅路に声をかけてくれて、同行してくれる人として現れるかもしれませんし、時には苦難の中で手を差し伸べてくれる助け手の姿として現れるかもしれません。時には御言葉を共に学ぶ兄弟姉妹をとおして現れるかもしれません。

皆さんは今、イエス・キリストをもっと知りたい、イエス様のことを誰かに伝えたいという情熱に燃えていますか？今週も、聖書の真理なるイエス・キリストとの信仰の交わりを深めていけますように。

それでは、お祈りします。(田部)

参考聖句：

※：詩篇 22 篇、イザヤ書 53 章、ダニエル書 9 章 26 節など。

※※：マタイによる福音書 25 章 35 節から 40 節。

Message July 18th 2021

Luke 24:13-35

Is your heart burning?

Good morning. My name is Kazunori Tabe, one of the deacons of YIBC. I will be bringing God's message from the pulpit this morning.

Let us receive the Lord's message today from Luke 24: 13-35. On the third day from the crucifixion of Jesus, there were two of Jesus' disciples who left Jerusalem. This is a story of the Risen Lord Jesus appearing before the two. The two later returned to Jerusalem after this encounter with the Lord. We would like to take the message from this Scripture.

Let us pray.

First, let us read beginning verse 13.

¹³ Now that same day two of them were going to a village called Emmaus, about seven miles from Jerusalem.

Jesus was crucified at Golgotha in Jerusalem. On Sunday, three days later, two of Jesus' disciples left Jerusalem and headed for the village of Emmaus, about 11 kilometers away.

Let us continue reading verses 14 to 19 (a).

¹⁴ They were talking with each other about everything that had happened. ¹⁵ As they talked and discussed these things with each other, Jesus himself came up and walked along with them; ¹⁶ but they were kept from recognizing him. ¹⁷ He asked them, "What are you discussing together as you walk along?" They stood still, their faces downcast. ¹⁸ One of them, named Cleopas, asked him, "Are you the only one visiting Jerusalem who does not know the things that have happened there in these days?"

^{19a} "What things?" he asked. "About Jesus of Nazareth," they replied.

When the two were heading for Emmaus, Jesus, who was supposed to have died three days ago, approached them and spoke to them when they were talking about Jesus. But they did not recognize that this person was Jesus Himself. This is described in verse 16 as " **they were kept from recognizing him.**"

Let us read from verse 19 (b) to verse 24.

^{19(b)} "He was a prophet, powerful in word and deed before God and all the people. ²⁰ The chief priests and our rulers handed him over to be sentenced to death, and they crucified him; ²¹ but we had hoped that he was the one who was going to redeem Israel. And what is more, it is the third day since all this took place. ²² In addition, some of our women amazed us. They went to the tomb early this morning ²³ but didn't find his body. They came and told us that they had seen a vision of angels, who said he was alive. ²⁴ Then some of our companions went to the tomb and found it just as the women had said, but they did not see Jesus."

Cleopas and the other disciple expected Jesus to be a prophet, not a Messiah, who should be the king who would free Israel from the rule of the Roman Empire. The two dreamt of political revolution and followed Jesus as His disciples, but because Jesus their rising star died, their dream shattered and in despair they were about to return to their hometown. They had trouble to understand and were confused why the Jewish religious leaders stirred up the crowd to demand Jesus' death and led the Romans who were Gentiles to kill Jesus. The news of the missing dead body of Jesus from the grave made them harbor unexplained fear.

Let us continue reading verses 25 to 27.

²⁵ He said to them, "How foolish you are, and how slow to believe all that the prophets have spoken! ²⁶ Did not the Messiah have to suffer these things and then enter his glory?" ²⁷ And beginning with Moses and all the Prophets, he explained to them what

was said in all the Scriptures concerning himself.”

First, Jesus listened to the story of the two. When they finished talking, Jesus began to teach " what was said in the entire Scriptures concerning Himself*".

In John 5:39, Jesus said, " These are the very Scriptures that testify about me." Looking at Luke 18: 31-34, Jesus has already told the twelve disciples three times before His crucifixion that His cross and resurrection will be realized in accordance to the prophecies of the Prophet. However, it is written that they did not understand the teachings of Jesus. The two would have heard the teachings of Jesus from one of the twelve disciples, but they must not have understood it and even forgotten that they heard this teaching.

Jesus did not forsake the two. Jesus approached them and called out to them. They didn't realize that this traveler was Jesus. Still, Jesus did not reveal Himself and, as a traveler, first listened to them. He accepted their despair, confusion, and anxiety. Once again, He began teaching them the entire Scriptures that revealed His own cross and resurrection. The two understood that Jesus's cross was the result of the fulfillment of prophecies in the Scriptures. They must have felt being understood and accepted. They were now able to see reality through the eyes of the Scriptures and their disappointments, confusion, and fear must have been resolved.

Read from verses 28 to verse 29.

“²⁸ As they approached the village to which they were going, Jesus continued on as if he were going farther. ²⁹ But they urged him strongly, “Stay with us, for it is nearly evening; the day is almost over.” So he went in to stay with them.”

Jews have an oral law called Talmud. Welcoming travelers with hospitality was also included as an act that would bring rewards in the future. The two followed the Talmud and thought that they should entertain the traveler who walked along with them. So, they invited Jesus into the house and served meals.

Read from verses 30 to verse 31.

“³⁰ When he was at the table with them, he took bread, gave thanks, broke it and began to give it to them. ³¹ Then their eyes were opened and they recognized him, and he disappeared from their sight. “

The disciples were the hosts who welcomed the traveler. Suddenly, however, the traveler became the host, and the two received hospitality as guests. The roles of the host and the guest have reversed. What does this mean?

In Revelation 3:20, Jesus says: "20 Here I am! I stand at the door and knock. If anyone hears my voice and opens the door, I will come in and eat with that person, and they with me." This Word was realized in verse 30. The two offered their hearts to Jesus with the act of entertaining the traveler from the bottom of their hearts without noticing this traveler as Jesus**. At that time, Jesus also served them bread, which is a symbol of His body.

Luke 22:14-23 describes the event in which Jesus broke the bread and handed it to His twelve disciples before He was crucified. This time, Jesus gave them bread, saying, "This is my body given for you; do this in remembrance of me." The two must have heard about the Last Supper, so when they were given bread by the traveler and heard His words, " This is my body given for you; do this in remembrance of me," they knew without a doubt, that "this traveler was Jesus!" This was what it meant in verse 31 "their eyes were opened". At the end of verse 31, it says, " he disappeared from their sight." We want to bear in mind that it is far more important to experience the fellowship in faith with Jesus, the truth of the Bible, than to live by sight alone.

Read from verses 32 to verse 35.

“³² They asked each other, “Were not our hearts burning within us while he talked with

us on the road and opened the Scriptures to us?”³³ They got up and returned at once to Jerusalem. There they found the Eleven and those with them, assembled together³⁴ and saying, “It is true! The Lord has risen and has appeared to Simon.”³⁵ Then the two told what had happened on the way, and how Jesus was recognized by them when he broke the bread.”

For Cleopas and the other disciple, the experience of knowing Jesus Christ, the truth of the Bible, and appearing before them as a traveler was more than a jubilant event. They could not but share this with the other disciples who traveled the journey with Jesus.

If we keep on looking at the realities before us with our own eyes alone, we may hope only for visible events and may be hit by despair, confusion, or fear.

However, when we look back at the same realities through the truth of the Bible, we find that the Word of the Bible rules the world, and that Jesus Christ, the truth of the Bible, is being sent into the midst of these realities.

Jesus appears through our neighbors and people close to us. He does not assert Himself, but just listens to us. He will reveal the truth of the Bible. He frees our hearts through the Word. He reveals Himself and burns our hearts. He may appear as one who comforts, encourages, and joins us in our difficult journey. He may appear as a helper who reaches out in times of need, during the trials. He may sometimes appear through brothers and sisters who study the scriptures together.

Is your heart burning to know more about Jesus Christ and to tell someone about Him? May you continue to deepen your fellowship in faith with the truth of the Bible, Jesus Christ, this week. Let us pray.

References

*: Psalm 22, Isaiah 53, Daniel 9:26 etc.

** : Matthew 25:35-40